

2020年10月21日

各位

株式会社大京
株式会社穴吹工務店

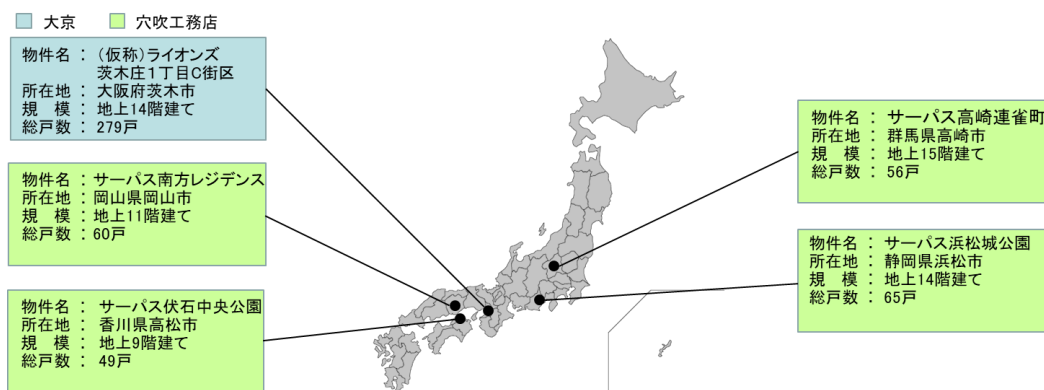
環境省「令和2年度 高層 ZEH-M(ゼッチ・マンション)支援事業」 大京・穴吹工務店で5事業が採択決定

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：小島 一雄）と株式会社穴吹工務店（本社：香川県高松市、社長：徳田 善昭）は、環境省の「令和2年度高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業※1」における全18事業のうち、当社より5事業（大京：1事業、穴吹工務店：4事業）が採択されましたのでお知らせします。

なお、大京および穴吹工務店では、2018年度の「経済産業省 高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）実証事業」と昨年度の「環境省 高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業」にて採択された事業を合わせて累計26事業が採択されています。

※1 令和2年度「集合住宅における ZEH-M 化等促進事業」のうち「高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業」

■採択された5事業の概要



■大京および穴吹工務店の取り組みについて

大京および穴吹工務店は、不動産ソリューションで社会課題の解決を図り、住生活環境の向上と社会・経済の発展に貢献する企業を目指しており、「ZEH-M」の取り組みもその一環となります。

今後も、「2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上で、2030年までに新築住宅の平均で ZEH の実現を目指す」という国の「エネルギー基本計画」に示された目標の実現に向け、ZEH-M 基準を満たすマンション開発事業を推進してまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 小野 TEL：03-3435-3167

1. 大京および穴吹工務店が目指す ZEH-M（ゼッチ・マンション）

ZEH-M とは、断熱性能を大幅に高め、高効率設備・システムを導入することで、電気やガスをなるべく使わずに、快適な室内環境を保つマンションです。大京および穴吹工務店は、住まう方の心地よさを追求した ZEH-M を推進するため、健康、家計、地球環境に配慮した、「人にも地球にも優しい暮らしの新基準」を策定しました。

L I O N S S U R P A S S
ZEH & ZEH
未来型マンションのスタンダード「LIONS ZEH」&「SURPASS ZEH」。

住まう人の心地よさを追求した、「ZEH」。

保温性が高い魔法びんのようなお部屋に
性能に優れた給湯器や効率が良いエアコンなどの設備で、
電気やガスなどをなるべく使わないマンション。
こんな理想的な暮らしを目指したのが「ZEH-M」（ゼッチ・マンション）なのです。

私たちは、未来型マンションのスタンダードを「ZEH-M」とし
推進していきます。
何よりも美しい未来の地球と、子どもたちのためにも。

人にも、地球にもやさしい暮らしの新基準。

快適で健康的な暮らし
省エネで家計にやさしい暮らし
地球の未来を考えた暮らし

■「人にも、地球にもやさしい暮らしの新基準」のポイント

①快適で健康的な暮らし

- ・高い断熱性により、寒い冬でも家の隅々まで暖かく

②省エネで家計にやさしい暮らし

- ・高効率設備（エコキュート等）でエネルギー使用量を削減
- ・高い断熱性と高効率設備で光熱費を節約でき経済的

③地球の未来を考えた暮らし

- ・高効率設備・システムを導入することでエネルギーを上手に使い、CO2 量を削減

参照：ライオンズ ZEH&サーパス ZEH (https://lions-mansion.jp/areaspecial/zeh_m/)

■関連ホームページ

- ・一般社団法人環境共創イニシアチブ https://sii.or.jp/moe_zeh_m02/zeh_mh/

2. 大京および穴吹工務店の採択物件一覧

採択年度	物件名	所在地	規模・階数
令和2年度	(仮称)ライオンズ茨木庄1丁目C街区	大阪府茨木市	地上14階建て、279戸
	サーパス高崎連雀町	群馬県高崎市	地上15階建て、56戸
	サーパス浜松城公園	静岡県浜松市	地上14階建て、65戸
	サーパス南方レジデンス	岡山県岡山市	地上11階建て、60戸
	サーパス伏石中央公園	香川県高松市	地上9階建て、49戸

■参考ニュースリリース

- ・2019年9月26日：環境省「高層 ZEH-M 支援事業」に11事業が採択決定
https://www.daikyo.co.jp/news/dev/files/20190926_3.pdf
- ・2019年3月28日：「高層 ZEH-M 実証事業」採択物件7物件で販売活動開始
https://www.daikyo.co.jp/news/dev/files/20190328_1.pdf
- ・2018年9月3日：経済産業省「平成30年度 高層 ZEH-M 実証事業」10事業が採択決定
<https://www.daikyo.co.jp/dev/files/20180903.pdf>

3. 「令和2年度 高層 ZEH-M (ゼッチ・マンション) 支援事業」の概要

中長期エネルギー需給見通し(エネルギーミックス)を着実に実現するためには、ZEHに係る2030年の政策目標での集合住宅の位置づけと、集合住宅におけるZEHの定義や中長期での具体的な政策目標を明確にすることが不可欠です。そのため、経済産業省資源エネルギー庁は「集合住宅におけるZEHの定義」を定めた上で、これの普及に向けたロードマップを策定したのち、「集合住宅におけるZEHロードマップ検討委員会とりまとめ」^{※2}を2018年5月に公表しました。

しかし、集合住宅の省エネルギー化は重要な課題ではあるものの、再生可能エネルギーのための面積(屋根面積)が限定されることから、住棟単位でのZEH(ZEH-M)の実現は難易度が高いこともあり、現状において実証事例は少ない状況にあります。

そのため、集合住宅のZEH化をとりまく目標や課題の存在を踏まえて、集合住宅のZEH化を促進するための設計ガイドラインを策定するために必要な事業の公募をすることとしました。本事業では、設計仕様やエネルギー性能に関する情報を提供する事業者に対し、集合住宅のZEH化にかかる費用の一部を補助すると共に、ZEHデベロッパー登録制度^{※3}を導入することで、ロードマップに基づくZEHの普及実現を目指すものです。

引用：令和2年度「集合住宅におけるZEH-M化等促進事業」のうち「高層ZEH-M(ゼッチ・マンション)支援事業」公募要領

※2 参照：経済産業省資源エネルギー庁ホームページ「集合住宅におけるZEHロードマップ委員会とりまとめ」

(URL：https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/zeh/pdf/roadmap-condo_report2018.pdf)

※3 ZEH-Mの案件形成の中心的な役割を担う建築主(マンションデベロッパー、所有者等)や建築請負会社(ゼネコン、ハウスメーカーなど建設会社)を「ZEHデベロッパー」として登録し広く公表する制度。